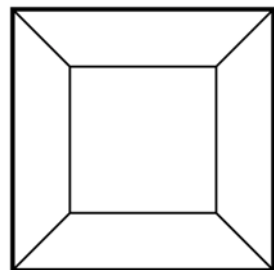


令和5年度 商品・商材開発を伴う販路開拓支援事業



K Y O T O
W . D . H .

京都W.D.H.

Wonderful Deep Heritage

参画事業者 募集概要・応募方法について

令和5年4月25日

主 催：京都商工会議所・ファッション京都推進協議会
事務局：京都商工会議所 産業振興部 知恵産業推進課

未来を変える一步を共に踏み出そう

～ “建築建材・インテリア・エクステリア”への挑戦、成長をサポート～

京都商工会議所及びファッション京都推進協議会では、令和4年度より商品・商材開発を伴う販路開拓支援事業「京都W.D.H.」を実施しています。

令和5年度は、店舗総合見本市「**JAPAN SHOP 2024**」出展を目指し、国内外の販路開拓支援に長けた総合コーディネーターのもとアドバイザーやデザイナーを支援メンバーに加え、主に住宅や店舗などに使われる建材、インテリア、エクステリア業界の商材の開発・改良から大規模展示会への出展支援まで、トータルで販路開拓を応援するプロジェクトです。

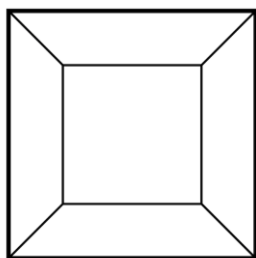
建材メーカーの他、染織・工芸産業やものづくり事業者など、店舗内装や家具、照明、エクステリアなどに興味があり、新商品・商材の開発、販路開拓に熱意をもって取り組んでいただける京都府内の参画事業者を募集します。



※インテリア商材の開発例(あたらしきもの京都 ほか)

プロジェクト・テーマ

今年度は、店舗総合見本市「JAPAN SHOP」出展を目指し、主に住宅や店舗などに使われる建材、インテリア、エクステリア業界の商材開発から出展までのサポートをおこないます。建材メーカーはもちろんのこと、染織・工芸産業のメーカーや店舗内装や家具、照明などに興味があるものづくり事業者の方々が対象です。



K Y O T O
W . D . H .

京都。素晴らしい 奥深き伝統

『京都。新しい喜び、感動、美しさ…千年の時をかけた文化、歴史は今も未来へとつながる。
そこで生まれるものは、創造の幅と深い奥ゆきを以て、さらに高みを目指す。
いつも、人それぞれのワンダフル！ 京都。』

《京都W.D.H.とは》

2022年にスタートした京都W.D.H.は、商品開発から展示会出展をサポートするプロジェクト。WDHはサイズを表わすイニシャルで、京都のものづくりの幅広さ、深さ、質の高さを示すとの意味を込めました。

サポートチームには、杉原総合コーディネーターのほか、デザイナー、アドバイザーなど中小企業のものづくりに経験豊富な方々を迎え、伴走型で参画事業者の事業成長をサポートしていきます。

<https://www.wdh.kyoto>



プロジェクトに含まれるサービス

- 商品開発・商品改良等の提案及びアドバイス
- 集合セミナー形式による、商品・商材開発、展示会出展および販売促進に関するノウハウの共有・全体指導
- 店舗総合見本市「JAPAN SHOP」（3月）への出展、ブース設営
- プロジェクトWEBサイト、リーフレット等の共同広報ツールの作成
- 出展後の販路開拓につながるフォローアップ 等

参加費

1社35万円（消費税込）

※商品開発・改良等に係る製作費、展示に係る商品の輸送費や什器代、展示会場への交通費等は、
参画事業者の負担となります。

支援方法

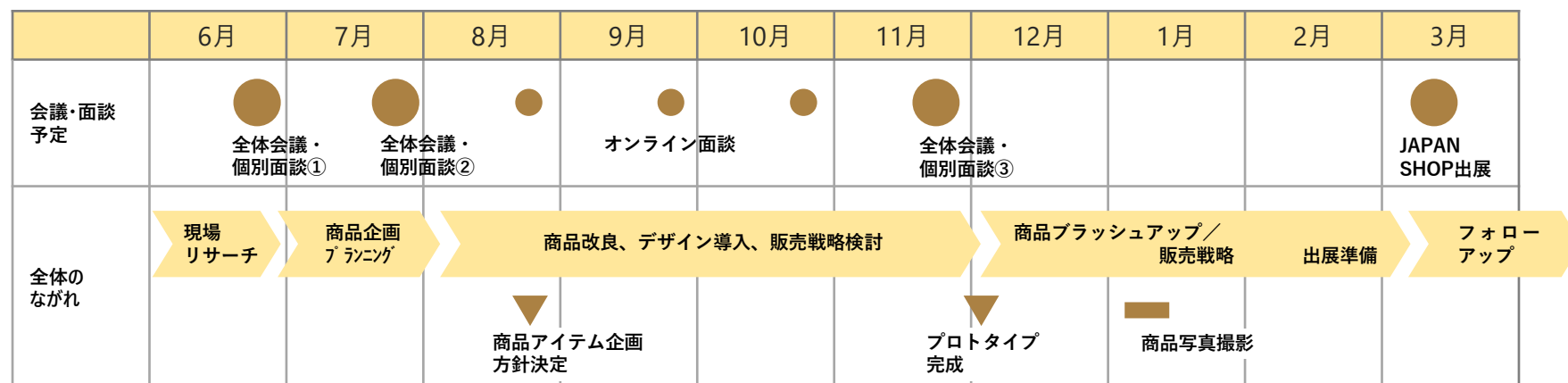
プロジェクト・コーディネーターを核として、広報、ビジュアルデザイン、プロダクトインテリアデザイン、販路開拓の専門家等からなるプロジェクト・チームを組成し、参画事業者の新たな商品開発・商品改良、販路開拓等を支援します。

●商品開発・販売戦略

- ・プロジェクト・コーディネーター、アドバイザー、デザイナー等による商品開発・商品改良等の指導
- ・プロジェクト・コーディネーターによる全体会議の開催

●商品開発の進め方

- ・プロジェクト・コーディネーター、アドバイザー、デザイナー等との個別面談から、商品アイテムを決定
- ・各社の状況に応じた、デザインアドバイス、販路開拓に向けたアドバイス等を実施
- ・全体会議において、情報提供、レクチャー、参画事業者間で情報交換等を実施
- ・参画事業者は、各社内における協議、調整を経て、新商品を製作



総合コーディネーター

杉原広宣（すぎはら ひろのぶ） 株式会社スカイ・モーション 代表取締役・Japan creation space monova 代表



1972年埼玉県生まれ。大学卒業後、住宅関連企業を経て、2002年よりモノづくりをする地域に関わるようになり、デザイナーマッチングやPRの企画、運営を担当。その後、JAPANブランド事業などの支援プロジェクトに数多く参画し、企業への商品開発指導などを行う。

2009年にそれまで9年務めた「リビングデザインセンターOZONE」から独立。モノづくり企業のコンサルタントとして、全国各地を飛び回る。

2011年に「作る」と「売る」の間にある「伝える」場が必要としてシェアショールーム「Japan creationspace monova」をオープン。現場感のある時流を捉えた企画やアドバイスで事業者サポートを実践し、これまで個別案件として約200の事業者の指導実績を持つ。



アドバイザー・デザイナー

▶ 広報ツール制作・アドバイザー：

五十嵐 洋（いがらし ひろし） 株式会社Casokdo 代表取締役

▶ ビジュアルデザイン：

佐治 俊克（さじ としかつ） サジーグラフィックス

▶ プロダクトデザイン：

馬淵 晃（まぶち あきら） AKIRA MABUCHI DESIGN 代表

中村 彩（なかむら あや） 株式会社nido 代表取締役社長

▶ 販路開拓アドバイザー：

阪本 洋（さかもと ひろし） 合同会社 生活感度研究所 代表

桂野 谷寿子（けいの やすこ） H2O DESIGN ASSOCIATES 共同代表

▶ スーパーバイザー：

用丸 正義（ようまる まさよし） 株式会社403 代表取締役社長

日 程（予定）	内 容
4月25日（火）～5月24日（水）	参画事業者の募集・応募受付（説明会：5月9日） 熱意をもって取り組んでいただける京都府内の染織・工芸産業をはじめとする事業者16社程度
5月29日（月）・30日（火）	選考のための個別面談日（1社あたり20分程度）
6月上旬	事業者の選定、選定結果のご連絡
6月中旬	プロジェクト・コーディネーター等による参画事業者の現地訪問
6月21日（水）・22日（木）	第1回全体会議 個別面談 初日：事業概要説明 初日午後・2日目：個別面談
7月初旬～中旬	商品開発面談（オンライン開催） デザイナーとのマッチング
7月下旬	プロジェクト・ウェブサイトの立ち上げ（作り手紹介 等）
7月26日（水）・27日（木）	第2回全体会議 個別面談 初日：デザイナー・プレゼンテーション&セッション、方向性確認 初日午後・2日目：個別面談
8月～11月	参加事業者による試作 ※月1回程度の面談（オンライン等）
11月29日（水）・30日（木）	第3回全体会議 個別面談 初日プロトタイプ評価、プロモーション支援 初日午後・2日目：個別面談
11月～2月	商品撮影、リーフレット兼ダイレクトメール 編集・制作
3月12日～15日	『JAPAN SHOP』（東京ビッグサイト）への出展

募集期間：～5月24日（水） 必着

●参画事業者の募集および選考方法

①京都府内の染織・工芸産業をはじめとするものづくり事業者、

インテリア・エクステリア領域で新たな展開を目指す事業者 など、

商品開発から販路開拓まで、積極的に取り組む姿勢のある京都府内の事業者を募集します。

②参画候補事業者の素材や技術、経営方針などを調査・検討したうえで、総合コーディネーターが事業者間のバランスも考慮しながら、本事業の趣旨・目的、および商品開発方針等に最も適する事業者（16社）を選考・決定します。

※本プロジェクトの趣旨・目的にあわない場合は、参画をお断りする場合があります。

※新規事業者を優先します。

●参加資格・条件

- ・京都府内に事業所を有し、本プロジェクトの趣旨・目的に賛同し、熱意をもって取り組めること
- ・試作品ではなく実際に販売できる商品の開発・改良と生産・販売体制の構築、販売促進に取り組めること
- ・全体会議、個別面談等に参加できること
- ・展示会当日は、必ず来場いただき、実際にブースにて商品説明や商談の対応ができること
- ・会議や面談等への出席、および商談件数や販売額等、本プロジェクト参画にかかる成果ヒアリング（実施年度以降も含む）に回答できること

募集期間：～5月24日（水）必着

●留意事項

- ・参加にあたっては、別途覚書を締結していただきます。
- ・共同開発にあたっては、関係者間で役割分担や権利等に関する契約を別途結んでいただく場合があります。
- ・販売できる状態にない試作品段階の商品・インテリア商材については、展示会出品や広報展開を見合わせる場合があります。

●選考のための個別面談日（1社あたり20分程度）

日 時：令和5年5月29日（月）・30日（火）

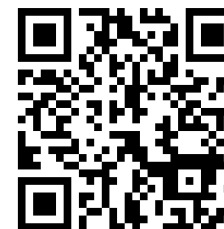
場 所：本所

※応募用紙にて、希望の日時を回答ください。

【応募用紙】

応募用紙は、以下のURLよりダウンロードをお願いします。

https://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/news_119314.html



【応募方法】

応募用紙に必要な事項をご記入のうえ、

メール（ bmpj@kyo.or.jp ）にて事務局までご提出ください。

【事務局】

〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入 京都経済センター 7 階

京都商工会議所 産業振興部 知恵産業推進課（福地・七村・梅垣）

TEL：（075）341-9781 e-mail：bmpj@kyo.or.jp